

鈴鹿中等教育学校 海岸清掃及び音楽を通じた環境教育活動

高校生ボランティアアワード2020

海の豊かさ、問題点

地球全体で海ゴミの問題は深刻になって来ている将来的には海ごみの量が海に生息する生物の量をコスともいわれています。また彼らは我々人間が出した海ごみによって大きな被害を被っています。日本でもレジ袋の有料化などの政策が行われており海の資源を守ろうという活動が広まってきてはいますが人々に強くその意識が芽生えているのかといえば、それは言い切り事は難しいと思います。日本のゴミ袋の有料化の狙いを説明できる人がこの日本にどれくらいいるのでしょうか？迷惑だなと感じている人も多いのではないのでしょうか？SODsにも「海の豊かさを守ろう」と表記され世界中で取り組む必要がある課題で、身近な大きな問題です。

海岸清掃

三重県の海岸を中心にこれまで計18回の清掃活動を行ってきました。海ゴミの量が多いと報告が寄せられていた場所を中心に活動しています。表にもあるとおりこれまで計18回行ってきました今までの累計可燃ゴミが137袋、不燃ゴミ331袋を回収しました。我々のグループ(二代目SOM、SOM)以外にも、学生や一般の方にも参加してもらいました。しかし、今年は新型コロナウイルスによる活動自粛の影響によって活動が制限され思うように活動ができていませんでしたが最近になって再会の目処がたってきました。今年のうちに少なくとも一回を計画しています。

音楽を通じた環境教育活動

海岸清掃を行って来ての気づき
以前清掃活動を行った場所でも時間が経つと、海岸に漂着している海ごみの量は以前と同じ量になっている
海岸清掃によって現在海にあるゴミの量を減らしていくとともに海に流れるゴミの量自体を減らすために活動をしていかなければいけない
誰しもが聞いたことのある歌に乗せて海ゴミの問題や海の豊かさについて啓発を行う



	活動場所	参加人数	可燃ごみ (袋)	不燃ごみ (袋)
第1回	磯山	22	5	70
第2回	千代崎海岸	22	3	28
第4回	ヤマトアリーナ北	13	2	38
第5回	若松漁港	19	5	19
第6回	若松漁港	5	2	5
第7回	若松漁港	16	58	0
第8回	若松漁港	6	0	18
第9回	箕田公園付近	7	19	0
第10回	若松漁港	5	0	17
第11回	ヤマトアリーナ南	5	0	10
第12回	千代崎海岸	9	1	6
第13回	千代崎海岸	15	3	17
第14回	若松漁港	23	6	17
第15回	ヤマトアリーナ付近	16	11	27
第16回	長太漁港	21	3	28
第17回	若松漁港	4	1	16
第18回	若松漁港	21	18	15
平均	—	13.5	8.1	19.5
合計	—	229	137	331

海岸清掃

利点：直接的な体験、海ゴミの問題への意識が深まる
難点：活動できる場所に影響されて参加できる人数は限られてくる
音楽を通じた環境教育活動
利点：様々な機会でも聞いてもらい、多くの人に広まりやすい
難点：聞くだけになって、理解が深まるかは個人による
これら二つの難点を同時に二つの活動を行うことによって解決し、より公開的な活動を行うことができる

・理解から興味へ

この理解には様々な意味が込められています。海ごみの量を減らす、海ゴミの排出を減らすことの重要性の理解
二代目SOMがなぜこのような活動を行っているのかについての理解
そしてその理解から感心や興味に繋がって欲しいですし、そのための有効的な活動を行わなければいけません。その第一歩を踏み出すきっかけをこの音楽を聞いたり海岸清掃へ参加することであったらこの活動の意義が生まれると思っています。
それは今回行っている海岸清掃であったり音楽を作成し海ごみ問題に注目を浴びせることであったり大きく表れています。この活動や他の様々な海ごみ問題に対する活動が広まり、世界の動きがさらに加速したらそれは私たちにとっても地球にとってもとても良いことです。

二代目SOMについて

二代目SOMは学校の生徒で結成されたグループです。前身であるSOMを引き継いだグループです。目標としては海ゴミという海の漂流して海洋生物を苦しめるものを少なくしよう、そのような活動をしています。我々のグループで行っている取り組みを2つご紹介しました。

Let's save the ocean!!

